

父の子に生まれた幸せに感謝します

陸軍士官学校卒業後、配属された「彦岐の島」で終戦を迎え、戦後《生きるためにどんな生き方をしていくのか》葛藤の末、親族の応援を得て、昭和二十七年三月に「釣具商」を始めました。

数々の紆余曲折はありましたが、「高度経済成長」の波に乗り、また、すばらしい従業員にも恵まれ順調に業績を伸ばし、株式会社イシグロの基礎を築き上げた功績は、組織としても「感謝」という言葉以外見つかりません。

幼い頃、よくクラーク博士の「少年よ大志を抱け」の言葉と、ぬやまひろしの「若者よ体を鍛えておけ」の歌を何回も何回も私に伝えていたことが、今でも記憶にはつきり残っています。

五十九歳までは商売一筋・六〇歳からは趣味の世界で、精一杯楽しく生きた人生でした。また、卒寿のお祝いで、ひ孫まで家族全員浜松に集まった時の笑顔が、昨日のように思い出されます。人に優しく、他者を許す心を忘れなかった父の生き方は、これからまだまだ私も、勉強していかねばならないと自戒の念を感じている次第です。もしも、願いが叶うとするならば、私が次に生まれる時も父の家族の一員になれたら幸せだと思っています。

「礎を築いてくれて本当にありがとうございます」この礎を守り、育てることをお約束します。父の人生に豊かな彩りを添えて下さった皆様へ、深く感謝申し上げます。

今後も変わらぬお付き合いを賜りますようお願い申し上げます。本日の御会葬、誠にありがとうございます。略儀ながら書状をもって厚く御礼申し上げます。



株式会社イシグロ



石黒家

喪主 石黒 衆

外親 戚 一同